



「春日和に誘われて」

KSC写真クラブ 園芸 26期 岩本 博幸

## 目次

2	特集1 第28期生 入学式
4	特集2 新入生の感想
6	特集3 第25期生 卒業式
8	特集4 第24期生 ホームcomingディ
10	サークルだより KSC写真クラブ、あじさい山歩会、ボランティア木工グループ 混声合唱団コーロKSC
12	グループわ だより、ジョイフルッキング
13	文芸サロン 俳句、川柳、応募作品
14	トピックス こうべ市民美術展表彰、施設利用委員会
15	事務局だより、図書室だより、編集後記
16	Photo News (卒業式・入学式)

情報誌編集委員会では、カレッジ内外の活動も含めて写真・記事の投稿をお待ちしています。

「爽風」への情報提供・ご意見は、次のホームページからお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホからは右のQRコードを読み取ってアクセスできます。



## シルバーカレッジ 28 期生 入学式 2021 年 4 月 8 日

衰えぬコロナ禍にあって、ここ神戸市シルバーカレッジでは無事に 28 期の入学式が執り行われ、新たなスタートが始まりました。これから 3 年間、すてきな仲間と、楽しく、元気に、学び、集い、有意義なカレッジ生活をエンジョイしていきましょう。

### 【式辞】 神戸市シルバーカレッジ学長 服部 祥子



美しい季節、この美しい日に 28 期生の皆さまをお迎えできたことを嬉しく思います。本日のご入学おめでとうございます。

去年は新型コロナウイルス感染拡大で卒業式も入学式もできず、寂しく残念に思いました。

あれから 1 年がたち、コロナはまだ終息していませんが、万全の感染対策で、入学式が挙行できたことを心よりうれしく、素直に喜んでおります。

さて、コロナで皆さまの生活も今までと全く違って、マスク着用、うがい、手洗い、不要不急の外出自粛など我慢と努力の日々、巣ごもりの 1 年だったでしょう。ステイホームと言われて、巣ごもりしていると人は孤独になります。

しかし孤独は新しい何かを生み出す原動力にもなり得るでしょう。孤独は、巣ごもり生活の中で時間と空間を与え、自分に目を向け、普段は考えられない時間や空間をもたらします。自分はどう生き、何をしよう、どんな人生設計を立てようかと思う。これは孤独の効用だと思うのです。

皆さまも、そうした中で興味や関心のある分野などに向き合い、学んでみようと思った方、またこれまで時間もチャンスもなかった芸術などを、今こそ極めてみよう、未知の領域に挑戦していきたい、などと考えられ、そこにお誘い、紹介、情報誌などでシルバーカレッジを知り、ここを選んだという方もいるのではないのでしょうか。

そして 1 年間の我慢が、今後の旅立ち、新たな人生の始まりとなり、新鮮な気持ちで今日から始められたらよいのです。「再び学んで他のために」これは神戸市シルバーカレッジのスクールモットーです。

このスクールモットーの「再び学んで」という「学び」、これはカレッジの 3 年間でしっかり学んでいただきたいということですが、この「学び」は、競争も、優劣も、勝敗もない、ひとりの人間として主体的に、純粋に、本当に学びたいことを学ぶという、上質の学びです。その学びをすることで、3 年後には大きな充実感と喜びを感じることでしょう。

またカレッジライフのなかで大切なことは、この学びを通じた

人との出会いです。学生生活の中で一緒に学び、意見や行動を共にし、心を通い合わせ、豊かで香り高い人間関係をつくってください。

卒業生たちは、学びを通して知識やスキルを得、さらにここで出会った人たちをこれからの人生の宝物にしたいと思います。いい交流を図って、再び学ぶ充実と人間関係の新しい構築を大切につくって楽しんでください。

そして、スクールモットーの後半は再び学んだものを活かすための、「他のために」なのです。

自分の持てる力をもって他のために動くこと、これを学校のスピリットとしています。

「他のために」とは、他者のために動くこと、どんな小さなことでもいい、他のために動く、それが相手の心に灯をともし、実は自分の心にも灯がともることにもなるのです。それがボランティア活動の醍醐味です。

そういう本学のスピリットとなっている「再び学ぶ」と「他のために」動くこのスピリットをぜひ 3 年間の生活の中で心に刻み、思う存分、カレッジライフを楽しんでいただきたい。

今日は本当に喜ばしい入学式になりました。最後にもう一度、ご入学おめでとうございます。

元気で、頑張って、楽しみ、そして生き生きと暮らしに彩りと暖かさ、楽しさを加えてください。



28 期生の入学式開会

## 【歓迎のことは】

在校生代表

生環 26 期 松本 啓二

28 期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。このコロナ禍の中で、私たちと共に学生生活を歩んでいきましょう。

今年の桜はこれまでより一段と綺麗です。これはコロナに負けないように桜が応援してくれているのだと感じています。

学生生活は私はまだ 1 年半しか経っていませんが、その中で感じたことを少しだけお話しします。



まず授業ですが、自分が経験してきたこと、学んできたことを見直して、また全く新しい知識を得ることができます。

次にクラブ活動ですが、これも今まで経験してきたことなどをスキルアップするための入部、またやったことのない未知の世界を切り開いていく入部、どちらもみんな生き生きして思いっきり楽しんでいます。

しかし、皆さんはこれから小学 1 年生になった気持ちでいて欲しいと思います。

こういう歌があります「1 年生になったら、友だち 100 人できるかな♪」1 年生になって友だち 100 人はいないですが、これからかなりたくさんの友達ができ、そのできた友だちと一緒に、先ほど学長が言われた「他のために」できること、それを一つでも探して、それをみんなで突き詰めていこうか、研究するとかというふうに実現していただけたらと思います。

最後に、この学生生活を送っていくためには健康が第一です。健康を維持するためには適度な運動、適切な食生活、それから睡眠、ストレスをためないことが大事です。健康維持に努めるよう頑張りましょう。

## 【新入生代表あいさつ】

新入生代表

園芸 28 期 西山 久子

新緑まがしいこの春の日に、私たち新入生はここに集うことができました。

この入学式は当然のように執り行われたのではないということと、私たちはコロナ禍を通じて改めて思い知らされることになりました。

ですから、今日このような盛大な式典を挙行していただけることは壇上の皆さま、諸先生方をはじめ、事務局の皆さま方の並々ならぬご尽力のおかげであることを理解し、心からの感謝を申し述べたいと思います。本当にありがとうございます。

さて、私たちはこれから始まる学習や実習に加え、仲間との交流にも期待し、胸を弾ませております。

とは言え、みんなよわいを重ねているものですから、中には身体に不安を抱えつつ入学を決意した者もいるでしょう。また、まだ仕事や家庭で責任を担いながら入学する者もいるでしょう。かくいう私も日々進行する忘却能力にあらがいがながら新たな学びを始めようとする者です。そこで、こうした事情がいつしかツタのように絡みつき、行く手を阻むことになるやもしれません。

そんな時には今日抱いた志を今一度思い起こし、またここに集う仲間と励まし合いながら、絡みつくそのツタを振り払い、学びを修めていきたいと思います。そして 3 年間を通してここで得た学習の成果を自らのものとして留め置くことなく、知識の種をより遠くに届けるタンポポのように、あるいは爽やかな木陰をより広く張り伸ばす大樹のごとく、地域社会で発揮することができるよう日々励んでまいり所存です。

むすびに、諸先生方におかれましては、これから厚きご指導、ご鞭撻をいただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。



## 28 期新入生に入学の感想を聞きました

### 健康ライフコース

古田 説子

しあわせの村の近隣「ひよどり台」から通学する私は、今年の12月中旬40年余り勤めた仕事を辞め、行く所もなく、ただ毎日しあわせの村をウォーキングしていた時に本校の募集チラシを発見、母が「カレッジ2期生」であり、30数年前のしあわせの村の開村式に家族と参加したことを思い出し、対象年齢になったのだからと、軽い気持ちで入学しました。授業はまだ2日だけですが、皆さまの自己紹介をお聞きしていると、大きな目標を持って入学されていることを知り、私も期待がツツツと湧いてきました。3年間どうぞよろしくお願いいたします。



### 生活環境コース

森下 利広

昨年4月から人生の第3ステージをスタートさせましたが、コロナ禍でほぼ何もできない1年でした。今年こそはと一念発起し新たな学び、地元で語り合える友人、一緒に遊べる仲間づくりを目指し、入学を希望しました。何を学ぶのかをいろいろ考える中で、「日々の生活を快適に過ごすためには何が障害になるのか、その解決のために自分は何ができるか」について知識と体験を深めたいと考え、生活環境コースを選びました。クラブ活動も決めました。これから3年間学び、学園生活を楽しまつ、地域社会にもしっかり貢献できるよう活動していきます。



### 国際交流・協力コース

戸田 文章

のっけから私事で恐縮ですが、小生は再入学生、ピカピカではなくヨレヨレの1年です。そんな自分の頭にまず浮かんだのは3つの反省です。1つめは、コロナのせいもありましたが、前のコースでは3年経っても顔と名前が一致しない人がいたこと。2つめは、とかく責務が特定の人に集中するため、逆にできるだけ関わりたくないという傾向が強くなること。3つめは、管理運営側と一般在校生とのコミュニケーションの場があまりないこと。よって微力ながら、こうした点が少しでも改善できて楽しくやれればと思っています。



岡 君子

私は、緑まぶしい「しあわせの村」を教室の窓から見るのが好きです。

「年齢はただの数字に過ぎない」の言葉に励まされ、再びシルバーカレッジに入学できたことを感謝します。

生活環境コースで新しい知識を学べることにワクワクしています。親しい友人ができるように願っています。コロナ禍という思いがけない事態となっていますが、みんなで免疫力を高め乗り切っていきましょう。

「再び学んで他のために」のスローガンをかみしめて、笑顔で学園生活を楽しんでいきます。

### 美術・工芸専攻

野中 博

昨年リタイアし、さあ何をしようかと模索している時、このシルバーカレッジを知りました。新しく何か学ぶのもいいかな、どうせなら最も縁遠い美術・工芸にするかと意を決し出願、運よく入学の運びとなりました。

入学式の日から生活スタイルが一変です、毎日が忙しく大変です。授業も絵画・陶芸と始まりましたが、聞きなれない専門用語に戸惑いながらも、これから3年間でせめて入門のドアを開けられたらと思っています。また同級生31名の皆さんと一緒に楽しい、充実したカレッジライフを送りたいと考えています。

山 秀子

シルバーカレッジに入学しようと思った動機は「コロナ」です。私の趣味の一つは異文化への海外旅行です。そして私の旅行スタイルは「地球の歩き方」を基本にスケジュールを組み立てネットでさらに掘り下げていくことです。ですが、今はそうした楽しみがかなわぬ世の中となり、何か未知の世界に関わる事は無いかと思っていたところ、シルバーカレッジの再募集に出会い、「国際交流」のコースでお世話になることになりました。

これからは、経験豊かな先生方の講義を受講し、勉強させていただき、海外旅行が可能になりましたら、その時の知識を生かした旅が再開できたらと思います。また、同じ目標を持った仲間とこれから一緒に学習できることが楽しみです。

## 美術・工芸専攻

原 真子

世界中の美術館巡りと張り切っていた矢先、コロナで海外にも行けず仕事も無くなり・・・そんな時、シルバーカレッジを知り運良く入学できました。小鳥のさえずりとそよ風に包まれて粘土と格闘していると、とても満たされた気持ちです。

すてきな環境を与えられたことに感謝し、学びとボランティアに充実した3年間を過ごしたいと思います。



## 音楽文化専攻

森口 浩一

ワタシのシルバーカレッジに入学するキッカケは・・・近頃よく使う市バスの掲載広告で知ったから・・・。

その詳細をインターネットで調べ『音楽文化』について学べるコースのあるコトも知りました。学生時代、選択科目で美術を当然のように選んでいたワタシに、興味はあったが選択してこなかった『音楽』というモノを還暦を越えて少し学んでみたい！と思う気持ちが芽生えてきました

そこで・・・第2希望無し！の『音楽文化専攻』一択で応募した結果、運良く選考されたのです。なのでコレから3年間の学生生活と共に『音』を楽しんで学んでいきたいと思えます。



堀川 佐知子

昨年から続くコロナ禍で、長い巣ごもり生活を送ってきました。こんな時だから、私は多くの人と合唱できたら楽しいだろうなと思って音楽文化コースに入学しました。また、音楽を深く学べるのはとても新鮮で楽しみです。歓迎交流会では、音文1年生全員で初めて合唱を発表します。みんなで練習する日も少なく、あたふたしていますが、こういった行事や授業を経てクラスがまとまっていけたらと思っています。そして、これから出会うであろう新しい友人やさまざまな経験を通して、楽しく充実した学生生活を送りたいと思います。

## 園芸専攻

吉村 美祐

私は、この緑に囲まれた北区、しかも北の端に位置する大沢で生まれ、幼少期を過ごしました。両親は非農家だったため、農業は学校で少し田植えを教わった程度の記憶です。山に囲まれたこの環境は私の心の中に大きく位置しております。京都に嫁ぎ、アメリカ生活も体験して、機会あって、人生の半ばに、この地に戻ってきました。子育て、仕事、介護は、緑に包まれながら人生を送るには最適の地だと思います。年を経て、今の私には、シルバーカレッジの位置付けは、あてはまるものがありました。

音楽を希望し、補欠1位になった時点で、もう一度自分の心に問いかけ、まだやるべき道があると考え直し、園芸を選択した経緯も、何かの縁かと思えます。コロナで、非常事態宣言が出て、まだ落ち着きを見せない出発ですが、意義のある学校生活を送りたいものです。

## 食文化専攻

鷲尾 久義

仕事以外何もせず、地域の付き合いも母ちゃん(妻)に任せきりのサラリーマン生活に昨年別れを告げました。退職後は、母ちゃんのこれまでの苦勞に報いるべく、昼ご飯を週3回作っています。ただ、麺類などしかできない"料理ビギナー"。

シルバーカレッジの食文での多種多様なシェフのレシピを習得し、3年後には"デザート付きのディナー"を母ちゃんに作ってあげたいと思っています。

母ちゃん「待ってて〜！」

矢野 みどり

食文化を選んだのは、食べるのは大好き！おいしい食事を作って家族や友人を喜ばせたい！という理由でした。始まってみれば、学生時代に戻ったかのように班長やクラス委員を決めていき、すべてがグループ活動。食の講義を受けるのも調理実習も同じ仲間がいるというのは、久しく味わえなかったことで、これも一つの楽しみです。

さあ、来週はどんな料理を作るのだろうかと思っていたら、コロナで学校はしばしの休校。調理実習と期待のクラブ活動は先のお楽しみとなりそうですが、それも人生面白いかな・・・ですね。



## シルバーカレッジ 25 期生 卒業式 2021 年 3 月 23 日

新型コロナウイルス感染症がまだ衰えぬ中、検温と消毒、場内の換気、密を避けて、家族、来賓、在校生も参加できない卒業式。そんな卒業生だけで迎える式ですが、みんな胸を張り、女性は和服姿もつやかに着飾って、厳かに卒業式は執り行われました。

### 【式辞】 神戸市シルバーカレッジ学長 服部 祥子



しあわせの村はもうすぐ春らんまんの季節を迎えようとしています。25 期生の皆さま、本日のご卒業心よりお喜び申し上げます。皆さまの入学から卒業まで

の3年間の日々のご努力をたたえ、心からお祝い申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスの影響でカレッジも休校を余儀なくされ、皆様には長期間の大切な学びの時間が失われました。この時期は学びの集大成であるグループ学習に取り組もうという時期であり、さぞかし無念な思いだったでしょう。

この学年はそういった中でのグループ学習であっただけに、生涯忘れられない思い出になったと思います。

しかし、私たちはこのコロナの時代をこれからも生きていく覚悟が必要です。今ここで、ケネディ第 35 代アメリカ大統領の就任演説の一節、「“国があなたのために何ができるか”ではなく、“あなたが国のために何ができるか”を問うて欲しい」という言葉を思い出します。私たちは国に期待しますが、私たち一人一人は国に対して何ができるのかを問うてみる、それが重要だということを示しています。

特に、コロナ禍の難局の中にある現在、国の援助のみを待つだけでは解決はおぼつかない。私たちの力が必要かもしれない。

さらに、この“国”という言葉の後に、地域、家族なども並べておきたい。国のために、地域のために、家族のために、今、私は何ができるのか。それを真剣に問うてみる。これがとても大切だと思います。

そこで、シニアにはシニア世代特有の強みがあります。

第1に経済的安定です。

シニア世代の主たる収入源は年金です。もちろん潤沢にもらえてはいませんが、コロナ禍でも年金は減らない。

ところが現役世代は今回のような時、突然破綻、失職、収入の壊滅的減少に喘ぎ苦しむ人がいます。

そう考えるとシニアの経済状態は、安定しています。そこで、できる範囲でいい、若い世代にささやかでも経済的支援をすることは心強いことだと思います。

第2は時間的余裕があるということです。

シニア世代には自由に使える時間があり、それを自分の意思

で使えます。この自由時間を子供や孫世代に力を貸して、手助けをすることは素敵なことです。

第3は豊かな社会性です。

シニアは社会生活、職業生活、家庭生活を長年営み、その経験が地域の知恵となるでしょう。また、地域の実情に精通して知力も体力もあるシニアが、社会や地域の先頭で活動を率いていく気概があれば素敵です。

この3つの強みが貴重です。国、地域、家族のために、一体何ができるかを考えて、自分のできる範囲で、できる限り「他のために」働き、動くということ。特にこんな難局だからこそです。

そして本学にはスクールモットーとして「再び学んで他のために」という精神があり、3年の間に胸に焼き付けられたと思います。3年間の学びが大きな果実となり、これから先、その果実をもって「他のために」動く、これは本学のスピリットです。ぜひ実行していただきたいと思います。

皆さんは知力も体力もあり、人生の円熟期の真っ只中です。

これからの日々、まず持てる力を活用して自分の生活と健康を自分で守る、つまり「自助自立」。そして周囲の人を助け、巡り会う人たちと豊かな交流などをしながら、共に生きる「共助共生」。この二つを大切に、どうぞお元気でお幸せにお過ごしください。最後にもう一度、25 期生の皆さま、本日はご卒業、本当におめでとございます。



### 【送辞】 在校生代表 美工 26 期 宮崎 辰夫

25 期生の皆さまご卒業おめでとうございます。

3 年間のカレッジ生活を終えられ、本日のご卒業の日を迎えられたことを在校生一同心よりお祝い申し上げます。

振り返ってみますと、我々 26 期生が入学した時に、各コースの皆さまに趣向を凝らした温かい歓迎会で迎えていただきました。

また、学園祭やクラブ活動、ボランティア活動では常にリーダーシップを発揮され、我々を引っ張っていただき、多くのことを学ばせていただきました。

カレッジでの 3 年間はいかがでしたか。コロナの影響により半年間休校がありました。楽しく、忙しく、苦勞した、あつという間の充実した 3 年間ではなかったでしょうか。卒業されましても、学園祭、学習発表会などに是非ともお越しください。

そして、カレッジで巡り合った友人との絆を生涯の宝として、実りの多いシニアライフをお過ごしください。

最後に卒業生の皆さまのご健勝とさらなるご発展を心よりお祈り申し上げ、在校生からの送る言葉とさせていただきます。



### 【答辞】 卒業生代表 美工 25 期 駒井 博

本日は私たち 25 期 267 名の卒業生のために盛大なる式を挙げていただき、卒業生一同心より感謝いたします。

新型コロナウイルス感染症による社会活動が制限される中、私たちのためにご臨席いただきました皆さまへ心より感謝申し上げます。

思い起こせば 3 年前、私たちはまだ名も知らぬ仲間と共に、これから始まる新しい挑戦に期待とそれと同じくらい大きな不安に胸を膨らませて入学しました。

そして、私たちはカレッジで先生方や仲間たちから多くの学びをいただきました。

2 年次には部活動や学園祭、ジョイラックデー、歓送迎会とさまざまな活動で先頭に立ち、皆を引っ張っていくことの責

任等のプレッシャーで悩んだことが、懐かしい思い出として残すことができました。

3 年次のグループ学習では仲間たちとの絆、信頼、思いやりが一層深まり、素晴らしい作品が完成しました。

昨年 3 月からコロナ休校となり、24 期の方々の歓送会、卒業式ができず、残念な思いが残っています。

幸いにも私たち 25 期は、このような状況の中、誰一人新型コロナウイルスに感染することなく、卒業式に出席できたことを嬉しく思います。

卒業を迎える私たちにとって、一緒に学んだ仲間たちとの別れはつらくもありますが、また新しい出会いがあります。

新しい出会いにも必ず別れもあります。次の出会いを求めて邁進して参ります。

新しい多くの仲間ができ、そしてその多くの仲間との絆を大切に、カレッジの卒業生として恥ずかしくない未来に向け一杯羽ばたいて参ります。

「再び学んで他のために」の教えを胸に、人生 100 年時代、まだまだ新しいことに挑戦してこれからの人生を切り開いて参ります。

卒業後も変わらぬご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、私たちが無事卒業できるのは、親切にご指導してくださった、先生方、事務的な面で働いて下さった事務局の皆さん、先輩方、多くの援助のおかげだと感謝し、心より御礼申し上げます。

これからも歴史を刻んでいかれましてをお祈りして、答辞とさせていただきます。



美術室にて卒業証書の授与（美工）

## シルバーカレッジ 24 期生ホームカミングデイ 2021 年 3 月 24 日

昨年 3 月に、新型コロナウイルス感染症の拡大で実施できなかった「シルバーカレッジ 24 期生の卒業式」に代わる「ホームカミングデイ」が開催されました。1 年ぶりの再会に、200 名余りの出席者の表情は晴れやかでした。

**【あいさつ】** 神戸シルバーカレッジ学長 服部 祥子



24 期生の皆さま、お久しぶりでございます。お元気そう  
で生き生きとした顔を拝見  
できましたことを大変嬉しく思  
います。昨年は大変でしたね。  
突然、新型コロナウイルスの  
来襲を受けました。日本も外国も大混乱に陥りました。シル  
バーカレッジも 3 月に休校になり、卒業式を挙行することが  
できなくなりました。本当に残念で寂しい思いをなされた事  
でしょう。あれから 1 年、新型コロナウイルス感染症が終息し  
ているわけではありませんが、今日こうして 24 期生の皆さまが  
一堂に会され、ホームカミングデイを開催することができました。  
1 年遅れではございますが、改めまして皆さまのご卒業をお  
祝いする事となり心より嬉しく思っております。

この 1 年間、皆さまはどのようにお過ごしになったでしょうか。  
おそらく、コロナ以前とはまったく違う日々が続いたと思います。  
新型コロナウイルス感染症の最大の難点は治療法が確立  
されていないという事です。ですから、皆さまお一人お一人が  
ご自分の健康や生命を守るためには感染しないようにするし  
か方法がないのです。そのため国民は、国の要請を受けまし  
て、手洗い・うがい・マスクはもとより、3 密を避け、ソーシャ  
ルディスタンスを守り、不要不急の外出は自粛する、という我  
慢と努力の日々を余儀なくされています。

こうした激しい厳しい制限の中で皆さまの生活には 3 つの  
大きな変化がありました。第 1 に日常の活動ができなくな  
りました。シルバーカレッジに通うことができなくなりました。そし  
てサークル活動ができなくなりました。第 2 に親しい人との出  
会いが減ってしまいました。親しい仲間や親戚、子や孫と会  
うことができなくなりました。仲間との飲み会・会食、そして季  
節の行事、お正月やお盆の帰省、これも自粛せざるを得な  
くなりました。そして第 3 に旅行だとか行事・イベントの参加  
ができなくなりました。旅行業界も苦しんでおられますが、私  
たちは行きたいのですが行くことができないのです。季節ご  
との旅行・音楽会やスポーツ観戦などに出かけられなくな  
りました。

この 3 つは、シニア世代にとっては日常生活の中で主要  
なアクティビティです。私たちの楽しみや潤いが日々の生活  
の中から失われてきました。

このようにコロナの影響による生活の変化は、マイナスのイ  
メージや発想がととも強いものです。しかし、考え方を少し  
変えてみますとポジティブな意味が見えてくると思うのです。  
例えば、行くところがなくなって自由時間が増えました。行くこ  
ろがないのですから家にいるしかない。最初は、退屈して、  
どうして家で過ごそうかと思いますが、よくよく考えてみると、自  
由時間が増えるということは、とてもすてきなことでもあるわけ  
です。細切れの時間しかない時にはできなかったことが、腰を  
据えて、じっくりとやりたいことをすることができるのです。自分  
一人の時間を持って、これから何をしようか、どんな生き方を  
しようかとじっくりと考える良いチャンスになります。

また、新しい出会いの機会を持つことができます。オンライ  
ンで遠くにいる人との新たなつながりを作ることができます。こ  
れは、コロナの時代ならではの新しい人間関係の作り方です。  
このように、ポジティブな考え方をもち、大事にしていくとい  
うことがよいのではないかと思います。そして、元気にコロナ時  
代を乗り切って生きていこうではありませんか。

本学のモットーである「再び学んで他のために」の精神を  
3 年間で心に焼き付けてくださったことと思います。3 年間の  
皆さまの学びはとても大きな果実を実らせ、成果をもたら  
したと思います。これをもって「他のために」を実践すること  
を目指していただきたいと思います。この 1 年間ですでに他の  
ためにいろいろな働きをしておられる方がいらっしゃいます。地  
域の中で先頭に立って活動しておられる方、青空学級で子  
どもの支援をいらっしゃり方、ボランティア活動に励んでお  
られる方もたくさんいらっしゃいます。

皆さまどうぞ「自助自立」と「共助共生」を大切にしてお元  
気でお幸せにお過ごしいただきたいと思います。

最後にもう一度、24 期生の皆さま一年遅れですがご卒  
業おめでとうでございます。心よりお祝いを申し上げます私の  
あいさつとさせていただきます。

### 【記念品贈呈（披露）】



24 期生からの記念品としてワ  
イヤレスパワードスピーカー 3 台  
が寄贈され、すでに普通の授業  
やイベントで活用されているこ  
とが披露されました。



### 【コース専攻代表あいさつ】



コース専攻代表国際交流・協力コースの佐々木さんは、「同窓会 HP の運営やオーストラリア・スペインの高齢者グループとのオンライン交流、会員相互の PC スキルを高める勉強会を企画している」と卒業後の活動について紹介

がありました。

生活環境コースの南山さんは、「この 1 年間、密を避けた行動・毎日の検温・ラジオ体操・1 日一万歩歩行・有機野菜の摂取など、健康に重点をおいた生活を続けてきた。いつまでも、若く健康に暮らしたいと考えている」と生活の変化を語られました。

美術・工芸専攻の福岡さんは、「美工コースの集大成であるグループ学習発表会・卒業制作展示会がコロナ禍のために中止になったことが寂しかった。しかし、昨年 12 月に卒業制作展を開催することができた。多くの方に私たちの成果を見ていただくことができました。服部学長をはじめカレッジ事務局など尽力いただいた方々に感謝している」と話されました。

7 つのコース専攻それぞれの代表が、シルバーカレッジでの 3 年間の思い出、卒業後のさまざまな活動、コロナ禍での日々の暮らしなどの紹介をしたあいさつでした。一人一人が、それぞれの場面で建学の精神である「再び学んで他のために」を実践している卒業生の様子を聞くことができました。

### 【特別演奏会】

和太鼓 松村組

和太鼓松村組は 1995 年阪神淡路大震災で被災された方がたへの激励と、神戸の復興エネルギーを全国に発信することを目的に神戸で発足しました。和太鼓のもつ響きの神髄に迫りつつも、マリンバやオカリナ・南米アンデスの民族楽器などとの融合を図り独自のサウンドを追求しています。

シルバーカレッジとのつながりは深く、2002 年からは音楽文化専攻の講師として指導いただいています。



松村組 演奏風景

#### 演 目

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 蒼空 (空へ)       | 作曲 松村 公彦 |
| 2 獅子奮迅 (ししふんじん) | 作曲 正本 憲一 |
| 3 夏の華 (なつのはな)   | 作曲 松村 公彦 |
| 4 神戸発 (こうべはつ)   | 作曲 松村 公彦 |

### NHK ニュースと神戸新聞社の報道より

3 月 24 日午後 6 時 30 分の NHK ニュース「Live Love ひょうご」で、『コロナで中止の卒業式 代わりの式典を開催』と題して神戸シルバーカレッジのホームカミングデーの様子が放送されました。



NHK の取材を受ける 24 期生

また、3 月 25 日の神戸新聞朝刊に『1 年遅れ笑顔の“卒業式”』として掲載されました。取材を受けた国際 24 期

の木村さんは「昨年の中止は本当に悲しかったので、今回の式典の知らせに感動した。大変な 1 年だったが、元気な仲間励まされて乗り越えられた」と話されました。

#### 1 年遅れ 笑顔の“卒業式”



3 月 25 日付 神戸新聞掲載記事

#### 写真は NHK「Live Love ひょうご」から



(健福 27 期 中塚 賢)

## KSC 写真クラブ

“あなたにも撮れるその一瞬写真好きな仲間と共に！”

健福 27 期 中塚 賢



こんにちは、KSC 写真クラブです。あなたは、写真を見るのが好きですか？撮るのが好きですか？カメラが好きですか？いいんです！写真が好きであればいいんです！そんな仲間が集うのが写真クラブです。

写真は「一瞬の時」を止めて残すことができます。2度と戻らないその一瞬、その感動を写真という形で残すことができるのです。すてきなことだと思いますか。

写真クラブでは、奇数月に撮影会をしています。そして、翌月に撮影会で撮った写真や撮りためた写真を作品にして持ち寄り、互選会をします。



2020.11 撮影会（相楽園）

互選会で選ばれた作品は、ふれあいホール横の壁面に展示しています。力作が並んでいます。ぜひご覧ください。



撮影技術の向上をめざして、写真塾（OB 講師による講座）やフォト研（会員相互の勉強会）などもしています。



2020.11 ジョイラックデイズ

学園祭（昨年度はジョイラックデイズ）では、クラブ員全員が作品を展示して普段の活動の成果を公開しています。また、毎年2月

には1年間の集大成を発表する場として、市内のギャラリーを1週間借りて、写真クラブ展を開催し、カレッジ以外の皆さまにもご覧いただいています。

写真クラブのモットー「楽しく・なかよく写真を楽しむ」を大切に、コロナ対策をしっかりと、ポジティブに活動しています。



2021.2 写真クラブ展（新長田合同庁舎・展示ギャラリー）

## あじさい山歩会（さんぽかい）

“安全第一で楽しく・健康のための登山（低山ハイク）を”

国際 27 期 山中 良

皆さん健康のために歩いていますか。あじさい山歩会は本格的な登山は無理だが散歩では物足りないという方を対象にコースを組んでいます。平地で歩く（散歩する）のと上がったたり、下がったりするのは筋肉の使い方が少し違います。私たちのクラブは六甲山系が中心ですが、たまには播磨の山々、京都一周トレイル（京都市内は盆地でありその周囲の山々を歩くコース）に行くこともあります。

山での事故（けが）は大抵登りより下りが多いと言われています。登りは必死で登りますが下りは気を抜いたり、スピードが出て転倒し、手をついて骨折したりするからです。それと一番の問題は迷いです。山に行けばたくさんの別れ道があります。最近はスマホに登山アプリをインストールし、国土交通省の地図をGPSで見ながら、現在地を確かめるので迷うこともいづらか少なくなりました。しかし、山に行けば携帯が使えない所もあるので事前に地図をインストールしていく必要があります。

山の楽しみは頂上に上がったときの気持ちの良いこと。粗末なものであっても、山での食事がおいしいこと。そして、登山を終えたときのビールの1杯がおいしく感じることです。どうですか。皆さん、私たちと一緒に低山ハイクをしませんか。



## ボランティア木工グループ

“皆さんに喜んでいただくのが活力”

生環 27 期 原田 和男

ボランティア木工グループは、学生会員と OB 会員合わせて現在約 80 人が在籍しております。「安全第一」をモットーに日々木工製品製作を楽しんでいます。

一般の方は目にすることのない多種の電動工具を保有していますので、ご家庭での日曜大工では難しい製作を体験できます。女性会員も多く在籍しています。

会員が作りたい物だけでなく、依頼製品の製作・修理を行っています。最近では、音文授業用和太鼓台座の修理・新製作、スポーツ授業用ダーツボード台の製作をしました。われわれの自信作を授業の際に見てください。喜んで使ただければ嬉しく思います。その他、神戸市内の児童館・中学校夏休み工作教室の指導・支援その部材製作、近隣のお年寄りの住まいの網戸など建具の修理なども行っています。皆さんのお役にたち喜んでいただくことが我々の活動の活力になっています。

木工グループの魅力の一つが、専用の木工室があるということです。月曜～金曜の任意の日に使用できます。各自の生活パターンにあわせ都合のよい日に活動できます。経験豊かな OB・先輩たちの指導によりスキルアップするのは楽しいものです。



木工室での製品製作状況

また、彫刻作品を創る木彫会が月 3 回程度開催されます。芸術的作品創りを目指す方にはこちらも魅力です。

新入生の方、興味が湧いたなら仲間入り歓迎します。



和太鼓台座



ダーツボード台

## 混声合唱団コーロ KSC

“合唱の楽しさを届けよう”

音文 27 期 合田 良美

混声合唱団コーロ KSC は、学生と OB 合わせて約 170 人の大所帯のボランティアグループです。混声 4 部合唱（ソプラノ、アルト、テノール、ベース）で、毎週月曜日（現在は隔週）にしあわせの村内にある研修館ホールで練習をしています。コロナ禍での現在、緊急事態宣言を乗り越えて、消毒、マスク、ディスタンスなどの、感染対策を取りながらも、歌う喜びを実感できることを感謝しています。

指揮者の皆木先生と、ピアノ伴奏の阪田先生の絶妙なコンビネーションの下で、厳しくも、笑いの絶えない練習を、毎回楽しみにしています。残念ながら、現在は、演奏会や、老人施設などへの慰問は中止していますが、しっかり活動できるようになれば、合唱を心待ちにしている方々に、楽しい歌声を届けたいと思っています。

4 月 8 日に開催の、新入生勧誘の中庭パフォーマンスでは、青空の下で、学生と OB のメンバー 33 人で「星に願いを」、「恋のバカンス」、「瀬戸の花嫁」の 3 曲を混声 4 部合唱でお届けしました。たくさんの新入生の方々に前に、みんなで一生懸命歌いました。

コーロはカレッジを卒業しても、ずっと団員として、そのまま所属できます。永遠に歌い続けることができるのです。

さあ、皆さん、私たちと一緒に歌いましょう。初心者、大歓迎。歌うことの好きな方の入団を心よりお待ちしております。



## グループ わ だより

### 親子で楽しむ“わ”んだーらんど（2月21日）

こべこらんどで親子で楽しむ“わ”んだーらんどを開催しました。当日は消毒の徹底、参加者人数・入場時間の制限など感染症対策を万全に、「さらまわし」や「けん玉」などを楽しんでもらいました。



### 第18回定時総会

2021年5月29日(土) 10時30分より、シルバーカレッジ内のカレッジホールにて開催します。

コロナ感染症対策として、参加者人数の制限、マスクの着用、体温測定などを徹底し実施します。

### スタッフ、支援者を募集しています

#### ・学習・学校園支援スタッフ

特別支援学級のお手伝い、教科指導の補助、学校行事のお手伝い、飼育動物のお世話など

#### ・区老連、区子連の支援スタッフ

総会、理事会の運営、会場設営、受付補助、運営補助など

#### ・パソコン塾講師

Windows、Office、インターネット、メールが一通り使える方

#### ・戦争の語り部アシスタント

授業の司会、進行役や映像の映写操作

#### ・一ノ谷プラザ清掃作業スタッフ

須磨一ノ谷プラザ館内での清掃作業(2時間/回程度)

お問い合わせ、申し込みは、シルバーカレッジ2階グループわ 事務所まで

## 中崎 朋子先生のジョイフルクッキング



## ローストビーフ ゆず風味

#### <材料> 4人分

牛もも肉 直方体	250g
塩	少々
こしょう	少々
サラダ油	大さじ1
ゆず搾り汁	大さじ1
ゆず皮千切り	少々

#### <たれ>

しょうゆ	大さじ3
酒	大さじ2
しょうが(薄切り)	3枚
ビニール袋	

#### 《作り方》

1. 牛肉は室温に戻し、塩、こしょうをすりこむ。しょうがは薄切りにする。
2. しょうゆ、酒、こしょうを混ぜて、たれを作る。
3. フライパンに油を熱し、中火で牛肉の4面を3分ずつ、小さな側面を1分ずつ加熱してきれいな焼き色を付ける。
4. フライパンの汚れをペーパーで拭き、2のたれを加え、ふたをし、ごく弱火にして1～2分蒸す。
5. 火を止めて少し冷めたら、ゆずの汁と皮を加える。
6. ビニール袋に移して、空気を抜き口を結んで、味を含ませる。
7. 肉を薄切りにして、盛り付ける。

#### 《注意事項》

- ・ ビニール袋に残った<たれ>は肉にかけるか、付けだれにする。
- ・ <たれ>の量は個人の好みで調整する。
- ・ ゆず皮千切りは皮の黄色い所を使います。

《俳句クラブ》

【兼題】春の季語から自由に

春昼や糶場せりに流す水の音

谷口裕

新社員昇降機にて畏まる

谷口裕

飛行船田園に行く野焼きかな

大高松男

フリスビーへ地を蹴る犬や風光る

大高松男

腹足りて締めは愚妻の蜷汁

大高松男

絵手紙の住所を知らせ卒業す

中井芳樹

南より畝攻め上がるはこべかな

中井芳樹

死に化粧母に着せたる花衣

千足恵美子

遍路寺の備へ付けたる投句箱

千足恵美子

福島の空は群青梅真白

千足恵美子



《川柳くらぶ》

題「生きる」

北風と太陽連れて生きてきた

中井芳樹

ありがとう生きてる内に言えなくて

大高松男

いい顔でばかり生きるも疲れたわ

吉田謙

生き様を仕舞い込んでる腹の中

千足千

ひたむきに生きる力で舞う姿

神田裕子

自由句

あと一輪息吹きかける予報官

中井芳樹

氷上に祈りをこめて天と地と

神田裕子

予算委は怒り怒られ日も暮れる

吉田謙

散歩中家の戸締め気にかかる

大高松男

燻されて燻製になると根性

千足千



《応募作品》

題「カロママプラス」

村田全康（生環27期）

糖質が多いと言われても食へ過ぎる

毎日測り書き込めば健康ライフ

よくできましたアプリ褒め歓喜する

題「新型コロナウイルス」

野田悦治（生環26期）

ワクチンに拍手打って五輪待つ

怖いがなワクチン順を後ずさり

俳句・川柳募集中！

投稿はこちらから



## 第46回こうべ市民美術展 みなと銀行文化振興財団賞を受賞



今年3月に卒業した美  
工25期 村上 満さん  
が、3月20日第46回  
こうべ市民美術展におい  
て「みなと銀行文化振興  
財団賞（工芸の部）」を  
受賞されました。

タイトルは「古き仲間達  
VI」、審査員は「本来、  
空き瓶はガラスであるはず  
だが、焼き物独特の土味

に違和感を感じさせない。魅せるという終着点を見据えて制  
作を励まれた結果なのであろう。型をうまく使い、上品なユー  
モアを感じる」と講評しています。

こうべ市民美術展は、「市民の美術活動に対して発表の  
機会と場を提供し、市民文化のよ  
り一層の振興を図ることを目的に昭和  
49年度より毎年開催しており、今年  
度で46回目を迎える」（第45回  
は新型コロナウイルスの感染拡大の  
ため中止）として、展覧会は3月  
16日から3月20日までの間、原  
田の森ギャラリー（兵庫県立美術館  
王子分館）において開催していたもの

です。応募部門は、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写  
真、デザインの7部門です。

作品には、神戸市長賞、みなと銀行文化振興財団賞、神  
戸芸術文化会議賞、神戸労働福祉協議会賞、神戸新聞  
社賞、神戸市民文化振興財団賞、佳作の各賞があり、その



「古き仲間達VI」

他に入選がそれぞれ選ばれましたが、今回は新型コロナウイルスの感染拡大のため、「表彰式」「講評会」は行われませんでした。

今回のこうべ市民美術展には7部門トータルで563点の  
応募があり、うち256点が展示され、入賞作品は40点  
（ほか佳作19点、入選194点）。

そして今回入賞された村上さんの工芸部門では44点の応  
募のうち、展示作品は19点、その中で入賞作品は6点  
（ほか佳作2点、入選11点）。

7部門のうち、応募数の多いのは洋画の233点、次いで  
写真の202点、日本画が48点、そして工芸の44点とな  
っています。

村上さんは校内では「電動ロクロの神様」と評され、今年1  
月のジョイラックデイズでは陶芸ボランティアグループのイベント  
として来場者に電動ロクロを体験してもらって、陶作の面白さ  
を伝えていました。ちなみに、村上さんは「古き仲間達IV」とい  
う作品で令和元年に兵庫県知事賞を受賞しています。

入賞受賞作品は、現在シルバーカレッジ美術室前のショー  
ケースに陳列されていますので、皆さん是非一度ご覧ください。

（美工27期 林 誠一郎）

## 施設利用委員会（RBC）からのお知らせ

### ◆2021年度委員の選任

代 表	塩谷 益教(音文26期)
副代表・総務担当	寺地 信夫(国際26期)
クラ協担当	佐野 廣和(生環27期)
ボラセン担当	竹谷 彰夫(生環26期)
システム担当	中塚 賢 (健福27期)

### ◆施設利用に関する各種連絡

施設利用申込担当者の変更・施設利用についてのご相  
談など、各種連絡はホームページ「ご連絡」欄からお知らせく  
ださい。

### ◆システム担当者募集中

施設利用委員会のシステム支援をしてくださる方を募集し  
ます。システム運用の経験がある方（HTMLに関する知識  
がある方）を求めます。

支援内容は、毎月の施設利用申し込みの円滑な運用の  
支援・サークルデータの整備と管理・委員会ホームページの  
運用などです。ホームページ「ご連絡」欄でご応募ください。

施設利用委員会ホームページ  
<https://ksc-sofu.net/rbc/>



## 事務局だより

### ◆事務局職員の人事異動

〈退任〉3月31日付      〈新任〉4月1日付  
教務リーダー 佐々木 信二      三橋 美喜子

### ◆新任の挨拶

《三橋 美喜子》

4月から教務リーダーに着任致しました三橋と申します。新しい環境に新しい業務で私自身がまだ落ち着いていない状況ではありますが、学生の皆さまのやる気と元気、そして事務局にも協力的な姿勢には感銘を受けました。

シルバーカレッジが皆さまにとって楽しい！通い続けたい！と思える場になるよう努めてまいります。

よろしくお願い致します。

### ◆感染防止対策への協力をお願い

学生の皆さまには、感染防止対策にご協力をいただい

います。

体調管理、手指衛生、3密の回避（特に食事のとき）、マスクの着用、検温など感染防止対策を励行し、引き続き安全で安心な学園生活にご協力をお願い致します。

### ◆台風などにおける気象警報発表時の対応

午前8時の時点で神戸市域に気象警報が発表されている場合は休校です（学生便覧10ページ参照）

なお、休校の際は、当校のホームページの「緊急のお知らせ」で連絡します。（<http://kobe-sc.org/>）

個別の連絡は行いませんので、テレビやインターネット等の気象情報に、ご注意ください。

### ◆駐車場定期券の取り忘れにご注意を

駐車場定期券をご利用いただいておりますが、料金所で定期券を精算機に挿入したあと、取り忘れて定期券を紛失するケースが複数発生しています。ご利用に当たっては十分ご注意ください。なお定期券の再発行には千円が必要です。

## 図書室だより

28期生の皆さま、御入学おめでとうございます。これからの学園生活が楽しく、充実したものになりますように。

ただ、残念なことに新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。兵庫県では1日の新規感染者が500人を突破しています。図書室では感染防止にできる限りの措置を講じていますが、変異株によるコロナにどこで感染するか分かりませんので、各自でできる防止対策を怠らないようお願いいたします。

さて、図書室では専門書だけでなく、新聞、雑誌など幅広い分野の書籍等をそろえていますので、きっと満足されるものと思います。新入生の皆さま、ぜひ一度、お立ち寄りください。

### <新着図書>

『日本習合論』 内田 樹（著） ミシマ社

『月まで三キロ』 伊与原 新（著） 新潮社

『じきしんいのちの物語』 神戸新聞明石総局・編  
神戸新聞総合出版センター

『感染症時代のマスクの教科書』 飯田 裕貴子（著）  
小学館

## 編集後記

桜満開、春らんまんの素敵な時期にぴったり合わせたように1年間待ちに待った、なくてはならない卒業式と入学式をしっかりと終えました。そして季節はいつしか目に優しい新緑の季節に移り変わっています。

無事に入学式を終えられた28期生の皆さんは、ぼちぼちカレッジの空気に慣れてきたことと思いますが、我が情報誌「爽風」編集委員会は、臨時の4月号と5月号の発行を手始めに、今年1年間を新たなメンバーを加えて、27期生が担っていくことになりました。

まずは卒業式、入学式のケジメの一大イベントをなんとか乗り切ってきましたが、これから先の学園祭などのイベントもあり、不安に苛まれております。

つきましては取材能力未熟な私たちのために、各コース、各専攻におけるイベント等がありましたら、まずは皆さま方から一報をいただき、カレッジ在校生の皆さんに寄り添う情報誌でありたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

（情報誌編集委員会 代表 林 誠一郎）

# 25期 卒業式

2021年3月23日



学長より卒業証書授与



卒業式 風景



卒業証書授与 (国際)



(園芸)



(音文)



(健福)

卒業証書授与は各コースごとに教室で行われました。

# 28期 入学式

2021年4月8日



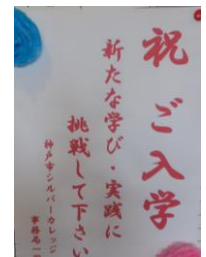
学長 式辞



在校生からの歓迎のことば



新入生あいさつ



コロナ禍対策のため、マスク着用、受付での検温、座席間隔を空けて着席していました。



(手話ソング)



(軽音楽クラブ)



(楽遊グループ銭太鼓)

クラブ勧誘パフォーマンスは野外で行われました。